

# 2011年、2012年11月リュウキュウアイ挿し木作業、藍建試験、2013年～2018年6月・7月収穫～琉球藍製造協力

栽培：挿し木～収穫、遮光、水やりを繰り返し、徐々に作付けを広げる

▽2011年11月挿し木作業：2つの大株から挿し木苗を作り、畑に植える   ▽2012年2月、2度目の挿し木作業、ススキをかけて水分を保つ   ▽2012年3月



▽2012年5月



▽2012年7月収穫



▽浸け込み



▽沈澱藍製造

▽10月、2010年製造の琉球藍で藍建



2012年に製造した琉球藍とそれを発酵建した液の微生物の分析、沈殿槽の計測を行い、2013年度の製藍時のpHを決め、水量計算して石灰量を決め、測定を行なった。

## 2013年度製藍の準備

▽2012年11月～12月挿し木作業



▽2013年6月27日第1回目、7月1日第2回目収穫



▽ススキや遮光ネットで収穫後の根を護る



# 製藍工程：浸け込み（約50~60時間）

▽前もって沈殿槽に山の水：約7.5トンを入れる



約160年前に製造された沈殿槽

▽網を入れ、葉を400kg刈り取り、すぐ水に浸け込む



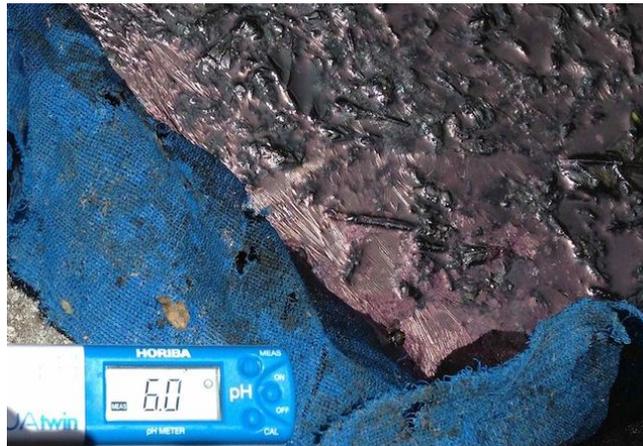
▽葉を均等に広げ、金網を置き、木を渡す



▽木の上に均等に石を配置して、葉が全て水に浸かるようにする    ▽浸け込みから22時間経過、藍成分が溶け出している    ▽47時間経過



▽浸け込み液中は青緑色、酸化作業まであと3~4時間    ▽50時間経過、発酵が進みpH6.0まで下がる



▽液温34度、良好



# 葉の取り出しー酸化作業(30分～1時間)

▽50時間経過、重しを取り除く



▽葉をひっくり返し、色の抜け具合を見る



▽底に敷いてあった網をクレーンにかけて、葉を取り除く



▽取り除いた葉、水を切る



▽浸け込み液に石灰を投入して、攪拌を開始、酸化する



▽攪拌開始20分



▽石灰投入でpH10.2になる、泡が深い藍色になる



▽攪拌開始40分経過、液も黒っぽい藍色に変わり、酸化終了



▽翌日、泡が消え、藍の沈澱が進行中



酸化作業後、約1週間で上澄みを捨て、沈澱した藍を貯蔵槽に移す。6月29日酸化作業した沈殿槽の上澄みを7月5日に抜いて、沈澱藍を貯蔵槽に移した。

▽酸化作業から1週間経過した沈殿槽



▽ポンプで上澄み液を抜く



▽徐々に上澄み液が下がり、壁面に付いた藍が見える



▽貯蔵槽を洗う



▽沈澱藍が見えたら少し液を戻し攪拌、一気にポンプで貯蔵槽に移す



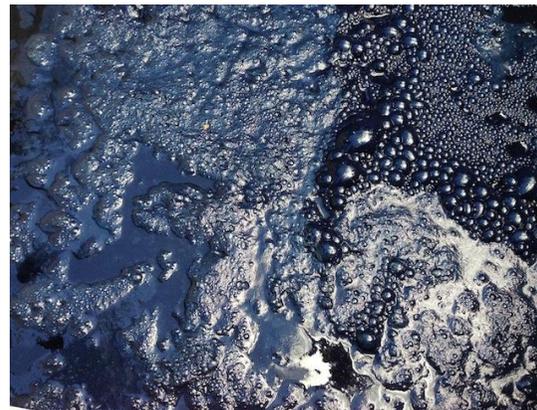
▽貯蔵槽に移された沈澱藍



▽さらに沈殿槽の底に残った沈澱藍を取り、貯蔵槽に移す



▽貯蔵槽でさらに沈澱させ、上澄みを捨てる



▽貯蔵された沈澱藍、pH9.0位まで下がる

